

所信表明



三条市長 滝沢 亮

令和6年12月2日(月)の市議会定例会において、市長が施政についての考えを表明しました。

はじめに

令和6年三条市議会第4回定例会に臨み、所信表明の機会をいただきありがとうございます。

2期目におきましても、市民の皆様の声に真摯に耳を傾けながら、諸課題に全力で取り組み、私たち三条市の発展のために邁進してまいります。

それでは、ただ今から、今後の市政運営に際しての私の基本的な考え方を申し上げます。

1期4年を経て、三条市が素晴らしいまちであるとの思いは、自信から確信に変わりました。変化に対応して挑戦を続ける力強い産業。私たちの三条市を少しでも良くしようともちづくりにより多くの方々。三条市を愛し、応援してくださる市民の皆様。私が担う役割は、皆様の期待に応え、素晴らしい私たちの三条市を更に素晴らしいまちにすることです。

この「更に素晴らしいまちにする」というのは、私たち三条市の発展という意味のみならず、もしかすると耳障りの良くないような現実的な課題にも向き合って解決に導いていくことも含まれます。我が国は、これまでに経験したことのないスピードで進む人口減少、これに伴う生産年齢人口の減少、経済活動や人口などの過度な東京一極集中、また、自然災害の頻発・激甚化など大きな時代の変化に直面しております。

特に、人口減少に着目すれば、国立社会保障・人口問題研究所によると、現在約9万1,000人である私たち三条市の人口は、令和32年には約6万3,000人になると推計されております。この将来人口推計を見据えたときに、今後新たに取り組むべき政策に常を思いを巡らせることはもちろんのこと、現在私たち三条市が行っているあらゆる事業について、継続すべきもの、縮小・見直しをせざるを

得ないものなど、その在り方を問われる時機が来ていると感じております。

このような中で、私たち三条市が他地域に埋没せず、力強く生き抜いていくために、私はこれまでの4年間の政策を更に深化し、三条市らしさを追求しつつ、変化に対応した取組を行っていかねばなりません。

これからも市民の皆様のために、私たち三条市を更に選びたいなるまちにしていきたい。「産業の更なる発展」「教育・子育て環境の充実」「医療・福祉の充実」「持続可能なまちづくり」「道路インフラの整備」を政策の柱として各種の施策を推進してまいります。

①産業の更なる発展

「世界に自慢できる

三条へ」

我々は、世界規模で拡大した感染症によって人々の活動制限が強

いられた状況にあっても、先人たちが培ってきた「ものづくり」の技術を生かし、社会の需要に応える製品を生み出し、人々の生活様式の変化を捉えた販路開拓などを進め、落ち込んだ経済を回復してきました。

しかしながら、昨今の世界情勢の不安定化が招いた原材料高騰による生産コスト上昇、そして人口減少による働き手不足の深刻化や市場縮小がもたらす経済活動の後退への懸念といった、新たな不安を目の当たりにしています。

どのような困難があろうとも、私たち三条市がこれから先も国内はもとより海外でも更に知名度を上げ、「ものづくりのまち」として認知され続けていくためには、これまで以上にいち早く社会の変化やニーズを察知し、人々の暮らしを更に豊かにする製品づくりやサービスの提供に結び付け、多くの方々の評価や信頼を得ていくことが必要です。そのための重要な